一茶ゆかりの里四季の俳句会　（令和八年四月～九月分）

選者　高山俳壇　松本　孝夫　先生

特選　霜柱靴の下からざくざくと　東御市　田村　芽依

霜柱は地面に霜柱が連なり地面を歩むとざくざくと音がする。

特選　せみたちやぬけがらおいてたびだちだ　高山村　浅井　睦久弥

せみのぬけがらは、地面や木に残している。せみは羽を背中に付けて空中を舞う。

入選　かぶとむしはじめてさわるどきどきだ　高山村　髙井　惺

入選　梅雨がはれ青い空には虹がさく　中野市　武田　和佳奈

入選　夏の雲さわってみたいなとどくかな　高山村　丸山　貫志